

## I 令和4年 水稻生育状況

- 1) 播種作業はほぼ平年並みに始まりました。育苗期間は気温の高い日が続き、高温障害による発芽不揃いも多少みられましたが、苗の生育は概ね順調でした。
- 2) 田植え作業は5月6日から始まりました。5月16日から20日にかけてと、5月28日から6月10日頃まで気温の低い日が続き、この時期に田植を行った圃場では苗の活着・初期生育が緩慢となりました。
- 3) 生育状況は、7月15日時点で「草丈：70.3 cm（平年比 111.4%）、茎数：465.9 本/m<sup>2</sup>（同 79.8%）、葉数：11.3 葉（平年差 0.3 葉）、葉色：37.5（同 0.2）」と、草丈が長く葉色は濃く、茎数が少ない状況でした。平均値では茎数が少なかったが、549 本/m<sup>2</sup>という圃場もあれば349 本/m<sup>2</sup>という圃場もあり、圃場間格差がありました。

	月日	植付時	6/10	6/25	7/5	7/15	前年値	前年比・差	平年値	平年比・差
	管内 20ヶ所 平均	草丈		26.3	34.3	57.9	70.3	65.0	108.2%	63.1
茎数(株)		4.9	7.8	20.2	22.7	23.0	26.7	86.0%	27.9	82.3%
茎数(m <sup>2</sup> )		100.4	157.5	410.0	461.9	465.9	562.2	82.9%	583.8	79.8%
葉色				44.1	42.1	37.5	38.1	▲ 0.6	37.3	0.2
葉齢		3.1	5.9	8.8	10.3	11.3	11.0	0.3	11.0	0.3

※水稻展示圃あきたこまち 20 か所より  
 ※平年値は過去 10 か年の平均値

## II 病害虫について

### 1) いもち病

管内で6月下旬と7月上旬にいもち病感染好適条件が観測され、7月中旬から曇天が予想され、いもち病の感染が懸念されます。箱処理剤やオリゼメート粒剤等の使用圃場でも薬効が低下しておりますので、病斑を発見したら直ちに予防剤と治療剤の混合剤（ブラシンまたはノンプラス）の散布防除を周知しました。

### 2) 斑点米カメムシ類

出穂の10～15日前まで畦畔や農道等の草刈りを徹底し、斑点米カメムシ類の生息地をなくすよう、地域でまとまって一斉に草刈りを行うと効果的です。

水田内のホタルイ等のカヤツリグサ科雑草やノビエの除草指導も講習会等で周知しました。

### 令和4年度無人へり散布計画

1回目(いもち・紋枯れ)	7月26日～	予定面積	591.2ha	(前年対比	92.6%)
2回目(いもち・カメムシ類)	8月9日～	予定面積	1,184.8ha	(	" 86.9%)
3回目(カメムシ類)	8月23日～	予定面積	637.7ha	(	" 79.3%)